



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 遠州トラック株式会社  
 コード番号 9057 URL <http://www.enshu-truck.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 孝之  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0538-42-1111

平成29年12月11日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,385	11.4	738	38.9	702	36.6	586	71.2
29年3月期第2四半期	11,120	1.1	531	36.2	514	51.9	342	96.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 671百万円 (97.7%) 29年3月期第2四半期 339百万円 (185.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	78.55	
29年3月期第2四半期	45.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,537	12,402	52.7
29年3月期	23,342	11,791	50.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,402百万円 29年3月期 11,791百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		8.00		8.00	16.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,100	8.8	1,420	21.5	1,350	22.6	980	55.0	131.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	7,546,000 株	29年3月期	7,546,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	85,086 株	29年3月期	85,055 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	7,460,917 株	29年3月期2Q	7,461,019 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や公共投資が増加し、企業の設備投資も堅調に推移するなど、緩やかな回復が持続いたしました。

当社グループにおきましては、ネット通販向けの物流拠点間輸送が増加したことと、家電品の在庫高が高水準に推移したことや夏場の日用品・衛生用品等生活関連貨物の取り扱いが高頻度で推移したことから、当第2四半期連結累計期間の営業収益(売上高)は123億85百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

利益面におきましては、輸送部門については稼働率が上昇したこと、倉庫部門については業務の改善を進めたことから、営業利益は7億38百万円(前年同期比38.9%増)、経常利益は7億2百万円(前年同期比36.6%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は連結子会社の清算に伴う税効果により法人税等が減少した結果、5億86百万円(前年同期比71.2%増)となりました。

セグメント別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業の営業収益は122億81百万円(前年同期比11.5%増)となりました。その内訳は、輸送部門が83億46百万円(前年同期比16.8%増)、倉庫部門が39億35百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

その他(不動産事業等)は1億3百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は57億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億67百万円増加しました。これは主に現金及び預金が3億21百万円、受取手形及び営業未収入金が1億4百万円増加したことによるものであります。固定資産は177億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億72百万円減少しました。これは主に有形固定資産が1億25百万円、投資その他の資産が85百万円、無形固定資産が61百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、235億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億94百万円増加しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は43億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億67百万円減少しました。これは主に支払手形及び営業未払金が87百万円増加したものの、短期借入金が2億77百万円、未払法人税等が91百万円、1年内償還予定の社債が50百万円減少したことによるものであります。固定負債は67億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少しました。これは主に長期借入金が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、111億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億16百万円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は124億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億11百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5億86百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は52.7%(前連結会計年度末は50.5%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は16億33百万円となり、前連結会計年度末より2億71百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7億71百万円（前年同期比3億47百万円増）となりました。これは主に売上債権の増加額1億53百万円、法人税等の支払額1億99百万円による支出に対し、税金等調整前四半期純利益7億2百万円、減価償却費3億17百万円、仕入債務の増加額90百万円による収入があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は49百万円（前年同期比3億1百万円減）となりました。これは主に保険積立金の解約による収入1億9百万円に対し、有形固定資産の取得による支出1億32百万円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は4億49百万円（前年同期比89百万円増）となりました。これは主に長期借入れによる収入3億50百万円に対し、短期借入金の純減少額35百万円、長期借入金の返済による支出6億20百万円、社債の償還による支出50百万円、配当金の支払額59百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,361	1,683
受取手形及び営業未収入金	3,632	3,736
電子記録債権	40	56
販売用不動産	41	36
繰延税金資産	87	83
その他	218	206
貸倒引当金	△75	△28
流動資産合計	5,306	5,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,698	3,598
機械装置及び運搬具(純額)	247	238
土地	11,191	11,191
リース資産(純額)	293	278
その他(純額)	104	101
有形固定資産合計	15,534	15,408
無形固定資産		
投資その他の資産	415	353
投資有価証券	605	721
繰延税金資産	74	40
その他	1,444	1,276
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	2,086	2,001
固定資産合計	18,036	17,763
資産合計	23,342	23,537

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,114	2,202
短期借入金	1,346	1,069
1年内償還予定の社債	100	50
未払法人税等	237	146
賞与引当金	130	133
その他	798	759
流動負債合計	4,728	4,360
固定負債		
長期借入金	5,913	5,885
退職給付に係る負債	430	448
その他	478	440
固定負債合計	6,823	6,774
負債合計	11,551	11,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	9,298	9,825
自己株式	△59	△59
株主資本合計	11,610	12,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	268
繰延ヘッジ損益	△16	△8
退職給付に係る調整累計額	8	6
その他の包括利益累計額合計	181	266
純資産合計	11,791	12,402
負債純資産合計	23,342	23,537

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	11,120	12,385
営業原価	10,188	11,252
営業総利益	932	1,133
販売費及び一般管理費	400	395
営業利益	531	738
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	7
受取保険金	3	—
保険解約返戻金	—	6
関係会社事業損失引当金戻入益	10	—
その他	5	14
営業外収益合計	25	29
営業外費用		
支払利息	38	31
保険解約損	—	23
その他	3	8
営業外費用合計	42	64
経常利益	514	702
特別利益		
固定資産売却益	11	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社出資金評価損	9	—
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	515	702
法人税等	172	116
四半期純利益	342	586
親会社株主に帰属する四半期純利益	342	586



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	342	586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	78
繰延ヘッジ損益	11	8
退職給付に係る調整額	1	△1
その他の包括利益合計	△2	85
四半期包括利益	339	671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	339	671

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	515	702
減価償却費	322	317
支払利息	38	31
関係会社出資金評価損	9	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△32	△153
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7	6
仕入債務の増減額 (△は減少)	△58	90
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△67	72
その他	2	△75
小計	727	992
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△38	△29
法人税等の支払額	△271	△199
営業活動によるキャッシュ・フロー	423	771
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△261	△132
有形固定資産の売却による収入	11	1
無形固定資産の取得による支出	△30	△11
投資有価証券の取得による支出	△33	△3
保険積立金の解約による収入	—	109
その他	△36	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△350	△49
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	310	△35
長期借入れによる収入	—	350
長期借入金の返済による支出	△523	△620
社債の償還による支出	△50	△50
配当金の支払額	△59	△59
その他	△36	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359	△449
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△287	271
現金及び現金同等物の期首残高	1,559	1,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,271	1,633

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。